



令和8年1月22日

No.26 中之庄小学校

ユネスコ 韓国との学校間交流

1月19日、韓国から先生がやってきました！

昨年7月に、「ユネスコ日韓教職員交流プログラム」に校長が参加したことがきっかけで始まった学校間交流。これまでにも3回オンラインによる合同授業を行ってきましたが、今回は、韓国のソムガン小、セムマル小、マンデ小から5名の先生と、長野県と埼玉県の先生お二人が中之庄小学校を訪問しました。

まずは、体育館で歓迎セレモニーを行いました。ご臨席いただいた四国中央市教育委員会教育長様や、オンラインで参加のユネスコアジア文化センターの方からご挨拶をいただいた後、4～6年生の子どもたちが、「気球に乗ってどこまでも」と、世界でも人気の「GOLDEN」の歌のプレゼントをし、校長が本校の説明をしました。2時間目と3時間目は、韓国の先生方が、5年生に授業をしてくださいました。先生から韓国の伝統建築に描かれる伝統的な色と模様の「タンチョン」にマジックで色を付け、韓国の伝統的な紙である「韓紙（はんじ）」を貼ったランタン作りをしました。木枠を組み立てて、LEDを入れたら完成です。きれいなランタンが出来上がりました！



3時間目は、韓国の遊びを紹介してくださいました。まず、ハングルで自分の名前の書き方を教えてもらい、名札を作りました。次は、韓国の伝統的な遊び「チェギチャギ」「ピゾッヂギ」「コンギノリ」の3つを教えてもらいました。4時間目は、全学級の授業を観ていただきました。日本と韓国の授業の共通点や違いについて話し合いました。昼食は、給食をいっしょに食べ、食後には茶道の先生にお茶をたてていただき、抹茶を味わいました。韓国の先生方も「全然苦くなくておいしい！」と大好評でした。今回の交流で、韓国の先生方から中之庄の子どもたちに韓国の遊び道具などをたくさんいただきました。後の国際理解教育に役立たせていただきます。子どもたちはもちろんですが、教職員にとっても大変貴重な交流となりました。今後も交際交流を通して、子どもたちにコミュニケーション力や異文化理解、語学に関する関心・意欲の向上を目指します。当日の交流の様子は、次のサイトで見られます。

